



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

The Y's Men's Club of Nagoya

CHARTERED AUGUST 27, 1947

c/o NAGOYA YMCA 2-7, HARUOKA, 1CHOUME CHIKUSA-KU, NAGOYA, 464-0848 JAPAN

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

主 題 (2018 / 2019)

国 際 会 長 「私たちは変えられる」
アジヤ太平洋地域会長 「アクション！」
西 日 本 区 理 事 「未来に残すべきものを守り育てる」
中 部 部 長 「ワイズ総活躍中部」
名古屋クラブ会長 「クラブライフで平和を広めよう」

2018 ~ 2019 2月号 (No862)

2月例会プログラム

と き：2019年2月12日(水) 7:00pm ~ 8:30pm

と ころ：名古屋 YMCA

司 会 広瀬謙一君
開会宣言 会 長 深谷 聡君
ワイズソング
聖書朗読・祈祷 西村 清君
タイム オブ ファースト (食事はありません)
プログラム 「世界の飢餓」を考える時
講師 黒坂栄司氏
(日本国際飢餓対策機構)
ハッピーバースディ
ドライバースピーチ 川口 恵さん
YMCAの歌
閉会宣言 会 長 深谷 聡君

第 2 例 会

と き：2019年2月19日(水) 7:00p.m. ~ 8:00p.m.

と ころ：名古屋 YMCA

プログラム：下半期プログラム その他

3月号 原稿担当者

巻頭言 塩田 保君 2月第一例会レポート 中村 隆君

会 長 深谷 聡 書 記 鈴木(貞) 川本
副 会 長 平野 実郎 会 計 川口 塩田
プリテン 平野 久保田

友の安否を訪ねよう

木本 精之助

日韓関係が揺れています。韓国人元徴用工への賠償支払いを日本企業に命じる判決が韓国で相次いでいるからです。

1965年日韓国交正常化が実りこの時に交わした日韓請求権協定には「問題は完全且つ最終的に解決」との文言が盛り込まれ、韓国政府もこれを同意を示していたのでした。しかしながら両国の関係は、政治的にも、外交上も進展が認められず半世紀を超える年月が経過しているのです。ただ、この長い年月を無為に過ごした訳ではありません。我々はYMCAの国際協力事業を通じて貴重な人的文化的交流を体験することが出来、現在も進行中です。この経験の最大の賜物は隣国にて我々と志を同じくする人材との親しい交流にあります。年を重ねて友情は益々深まりつつあります。

若者はいざセミナーへ

昨年の夏、8名の若者が日韓ユースセミナーに名乗りを挙げて韓国を訪問し、両国の間に新しい友情の燭火を翳すことが出来ました。参加したメンバーは前回までの経験を活かし新しい課題に挑戦する積極集団でした。珍しいことに「言葉の壁」を乗り越えて意思の疎通が図られ両国の文化についても互いに自覚的に積極的な姿勢が強く表現されて心強く感じました。新しい年度の日韓ユースセミナーには期待も多大になることでしょう。参加者も倍増を期待されるかもしれませんが、しかし何よりもセミナーの若者が、二つの国に淀む暗雲を吹き払うような明るい話題を提供してくれることを期待します。

1月クラブ出席		B	F	1月 個人出席			
在 籍	18名	切手	0pt	小 尾	○	谷 川	◎
第1例会	13名	川 口	○	川 口	○	中 村	◎
メネット	0名	現 金	0pt	川 本	◎	西 村	○
ゲスト・ビジター	0名	小 計	0pt	河 部	○	平 野	○
第2例会	10名	木 本	○	木 本	○	広 瀬	◎
メネット	0名	久保田	○	久保田	○	深 谷	◎
ゲスト	0名	塩 田	◎	塩 田	◎	義 井	○
メーキャップ	0名	鈴木(貞)	◎	鈴木(貞)	◎	渡 辺	◎
出席率	83.3%	鈴木(学)	◎	鈴木(学)	◎		
		相 馬	◎	相 馬	◎		
		合 計	220pt				

ピンクシャッター事前集会 (1/15) 川本
◎第1 ○第2 ◎第1・第2 Mメーキャップ

■ ■ ■ 第 1 例会レポート ■ ■ ■

と き：2019年1月8日（火） pm 7:00～pm 8:30

ところ：名古屋 YMCA

2019年最初の名古屋ワイズ第一例会は、出席者13名とやや淋しく、その上、会長から昨年12月を持って可知君、常川君、鬼頭さんの3名の退会の旨、知らせれるというやや暗い幕明けであった。総員18名とはおそらく過去の名古屋クラブの歴史からみて最低のメンバー数ではなかろうか。今年度はより一層のEMC活動が当クラブの第1課題であろう。

つづいてプログラムの各メンバー2分間スピーチは、それぞれの目線から見た「年頭所感」やはり健康、体力維持等

.....

個人消息

2019年1月18日に韓国聖岩クラブの白宇鉉さんが召天されました。

名古屋クラブより供花を送りました。

謹んでお悔やみを申し上げます。

白宇鉉さんの葬儀に参列—2019.1.20—21

西村 清

中村隆総主事のメール、川口恵さんの電話で、19日（土）に白宇鉉さんの召天を知った。しかしあまりにも急なことで、どうしようかと思いつめがらしていたが、いろいろな機会に白さんが名古屋に来てくださっていたこともあり、やはり葬儀には参列するのが礼儀だろうと考え、日曜日に決断し、急遽ソウルに行くことにした。

インターネットでチケットをとろうとしたが、どの飛行機も満席でチケットがとれず、とにかく空港に行き、カウンターで交渉することにした。携帯で連絡をとっていた川口恵さんもソウルに行くということになり、二人で航空会社と話している中で、行きはビジネス、帰りはエコノミーがとれることになり、結局夕方6時20分のアジアナ便でソウルに向かい、20時30分にソウルに着いた。梁さん、ソウルYのスタッフ2人が迎えて下さり（飛行機便、到着時間等は中村さんがソウルYに連絡）、その足で、白さんが入院されていた病院のホールに安置されていた白さんの御遺体と対面した。聖岩クラブの方々も幾人かつめておられ、また白さんの奥様、娘さんともお話することができた。

10時半くらいまで病院で皆さんと話し、交わりの後、柳さんの車で、梁さんと共にソウルYのホテルに行き、我々はYのホテルに一泊した。翌朝6時からその病院のホールで葬儀があるということで、梁さんが朝5時半頃迎えにきて下さり、病院にかけつけ、皆さんとともに葬儀に出た。牧師が

に関する話題も多く、2分間丁度に+-5秒のメンバーもあれば図々しく3分50秒などのメンバーもあり、それはそれなりにペナルティの増加とファンドにも反映し、和気藹々のひとときでもあった。プリテン1月号の深谷会長の巻頭言の中にもあったように「今年は行動の年」そんなことを強く感じた新年初の第一例会であった。



来られ、全部で40分くらいの葬儀でしたが、讚美歌を歌い、牧師の説教があり、祝祷で葬儀は終了。皆さんはその後、火葬場に行かれたが、帰国の時間等のこともあって、我々は火葬場に行かず、柳さんの車で、梁さんと共に、ソウルYに戻り、近くのレストランで朝食をいただいた。

その後は柳さんが帰られ、梁さんと地下鉄に乗って梁さんの事務所に行き、いろいろ話した後、梁さんが地下鉄でソウル駅まで案内下さり（梁さんの事務所からソウル駅までは一駅）そこで分かれて、川口恵さんと二人でインチョン空港に行き、3時30分の飛行機で名古屋に戻った。聖岩のメンバーや白さんのご家族は喜んで下さったと思う。

白さん、ありがとう

川口 恵

2019年1月18日金曜、ソウル聖岩クラブの白宇鉉メンが亡くなりました。昨年3月の名古屋クラブ70周年記念例会にはソウルのメンバー11人で名古屋にいらしたばかりで、まだこれからも会えると思っていたのでとても残念です。ソウル聖岩クラブの初代会長であり、聖岩クラブ40周年でも会長をされ、メンバーと名古屋にも何回もいらして下さり、私たちのソウル訪問時もいつも温かく迎えていただきました。故長井潤さんが復活された日韓ソウルセミナーのソウル側のサポートをされ、またソウルにいるモンゴル人のために学校を開くなど、誠実で温かく実行力があり本当に素敵な人でした。ワイズに入って白さんに会えてよかったです。

西村先生と一緒にソウルに行き、棺の前で、白さん、いまままでありがとう。そして、奥さまとお嬢様の上に平安がありますように、と祈りました。

なお、連絡を取ってくださった中村総主事、空港に来ていただいたソウルYのスタッフ、夜遅く着いたにもかかわらずソウルで待っていてくださったソウル聖岩クラブのメンバーに感謝です。

第一例会卓話紹介

黒坂栄司（くろさかえいじ）氏

1965年北海道網走生まれ。約25年間福島県、北海道、沖縄県で牧師として働いた後、2017年11月、ハンガーゼロ・日本国際飢餓対策機構に巡回担当スタッフ（チャプレン）として招かれ現在に至る。神学生の時にスタディツアーでバングラデシュを訪れ衝撃を受けた事が現在の仕事の原点となる。

2018年7月西日本豪雨災害で被災した岐阜県関市、岡山県倉敷市、広島県呉市で延3週間被災地支援活動に従事。世界の飢餓、貧困で苦しむ人々について日本各地で啓発活動を行っている。

第2例会レポート

と き：2019年1月15日（火）19:00～20:15

ところ：名古屋YMCA5F

1. 第一例会予定（2月～6月）の件

1-1. 2月度（2月12日（火）TOF例会）

TOF（Time Of Fast）につき、食事は無し。

卓話：「世界の飢餓」を考える 講師：日本国際飢餓対策機構（ハンガーゼロ）黒坂英司氏

- ・オープン例会とし、他クラブワイズ、YMCAスタッフ、ユースリーダーにも声を掛ける。
- ・上記広報担当：広瀬ワイズ（Yスタッフ・リーダー）川本ワイズ（他クラブワイズ）

1-2. 3月度（3月12日（火））

卓話：YMCAグローバルキャンピングコンファレンス参加報告 講師：広瀬謙一ワイズ

1-3. 4月度（4月13日（土））（開催日変更可能性あり）

特別例会：トヨタ産業技術記念館視察 + 昼食会 + お花見？

- ・集合（9:30）→視察（10:00～12:00）→昼食例会→お花見散策（隣地のノリタケの森）
- ・子供、家族が参加し易くするため開催日の再検討を現在検討中

1-4. 5月度（5月14日（火））

ワイズ勉強会：メンバー全員が「ワイズメンとして必要な事柄を知り、クラブの充実・拡張につなげる為」の勉強会とする。詳細は次月以降の第二例会で決定する。

1-5. 6月度（6月11日（火））

2018-19年度の評価・反省会・・・年度を振り返り、来期につなげる。

2. とやまワイズメンズクラブ設立総会の件

2-1. 2月10日（日）とやまワイズメンズクラブ設立総会開催に当たり、名古屋クラブからの出席者を募った

ところ、各メンバーが日程的に都合がつかず、河部ワイズのみの参加となるが、5月のチャーターナイトには極力大勢の参加でお祝いすることを確認した。

3. 2018-19 下半期 名古屋クラブ会員数の確認

3-1. 2018年12月末日を以って、可知将ワイズ・鬼頭栄子ワイズ・常川晴生ワイズの3名が退会。

西日本区宛報告（半年報・会員異動届）に当たり、2019年1月時点の会員数の確認を行った。

- ・会員数：18名（内1名連絡主事）
- ・広義・功労会員：0名
- ・特別メネット：2名（長井衣世、深谷朗子）

4. 名古屋YMCA会員活動予定

4-1. ピンクシャツデー 2019の件：今年のピンクシャツデーは2月27日（水）。この運動を積極的な関わりを持って当日を迎えるに当たり、2月15日（金）ピンクシャツデー 2019名古屋YMCA集会を開催する。講師：田口努氏（横浜YMCA総主事）

5. 2019-20 年度の中部事業主査選出依頼の件

5-1. 次期中部小林部長より、YMCAサービス・ユース事業主査の選出依頼が名古屋クラブに有り、協議の結果、谷川ワイズを選出した。（3/9-10次期会長・主査研修会への出席も確認した）

6. その他

6-1. 会計担当より、今期から休会中のメネット会に対し、今年度の経常予算にメネット支援金が計上されているが、その使途として、愛実の会（実施済み）から種・西日本区メネット支援金に充てる提案が有り協議の結果、妥当性を認め承認した。

6-2. 会計担当より、今年度の西日本区宛緒献金の要請を3月例会にてアピールする旨を承認した。



Menettes of Nagoya Y's Men's Club

今月の聖句

『そこで神は、ご自分の望みのままに、体に一つ一つの部分を置かれたのです。だから、多くの部分があっても、一つの体なのです。目が手に向かって「お前は要らない」とは言えず、また、頭が足に向かって「お前は要らない」とも言えません。それどころか、体の中でほかより弱く見える部分が、かえって必要なのです。』

コリントの信徒への手紙一 12章 18～22節
西村 清

名古屋ワイズメンズクラブも現在20名をきってしまいましたが、私たちは一つの家族ですし、一つの体ということが出来ます。それぞれ異なった賜物があり、また特技も持っています。その一人一人は、その生かし方は違いますが、一つの健康な体を支えていると言えるのではないのでしょうか。

また、どの組織も、その目的にかなう有用な人材と、あるいは必ずしも適格に適応しているとは思えない人材を抱えているものです。しかしそれらの人材が目的にのみ適うから必要で、かなわない人材は不必要とは言えないすばら

しい才能も持っているものです。私たちのこの世の組織体はいろいろな人の集合体で、いわば一つの体なのです。

クリスマスに愛美の会にお邪魔し、名古屋クラブの有志と一緒にクリスマスを祝いました。その時、理事長の島しず子先生から一冊の本をいただきました。その中に何度か取り上げておられる記事ですが、神奈川県相模原市のやまゆり園という障がい者施設で、19名の死者、26名の重傷者を出す事件が起こったことです。その施設で働いていた元職員が引き起こした事件でした。仕事ができることが最優先される社会にあって、できない人間はふり落とされ、障がいをもつ者は存在する意味がないという考え方があったのです。

「障がいがあることは一つの個性である」と言われています。その個性が生かされることこそ健全な社会だと言えます。勉強のできる人、仕事の出来る人はそうでない人を見下すことがありますが、それは障がい者が存在する意味がないという考え方に通じるのではないのでしょうか。

今月の聖句は、まさにワイズメンの精神を言い表している言葉ではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

CS よりお願い

CS 献金 (目標 1,500 円) 年賀切手及び現金での献金をお願いします。

2月例会・3月例会までに持参または2月末日までにゆうちょ銀行口座にお振込みください。

今年の年賀切手(お年玉付き年賀はがき)の当選は3本です。

下2桁が **02 42 78** です。

BF よりお願い

BF 献金 (目標 1,500 円) (使用済み切手または現金) 通信と物流の変革が時代を反映しているのか、最近使用済み切手を集めることも難しくなっています。現在お手許に在れば少量でも構いません。2月・3月の第一例会時に是非お持ちください。

YMCA ニュース

は春休みプログラムや次年度プログラム準備を進めております。多くの方がクリスマス献金にご協力下さいました。ありがとうございました。

2月15日(金) ピンクシャツデー事前集会

時間: 19:00-20:30、場所: 名古屋 YMCA 5階予定

2月27日(水) ピンクシャツデー

メニ

メニ

4日 川口 恵さん

7日 川本 龍資君

18日 相馬 静香さん

会計より
会費納入
のお願い

会費は月額7,000円、年額84,000円です。特別メネット会員は年額24,000円です)できるだけ6ヶ月分42,000円を7月と1月に納入して下さるよう、お願いします。(3ヶ月分ずつ納入される方は7月、10月、1月、4月に納入して下さい)

ゆうちょ銀行 記号 12120 番号 82306781 なまえ ナゴヤワイズメンズクラブ